

研究計画概要

助成年度・種別	2016年度 一般研究助成
研究代表者	瀧川賢司
所 属	日本福祉大学大学院
研究テーマ	犯罪に至る前後の知的障がい者の支援に関する研究：犯罪予防支援と就労生活自立支援
研究計画概要	<p>近年、矯正施設から退所する際の対応や支援が社会的課題として注目されている。本研究では、知的障がい者の犯罪予防と犯罪を起こした後の支援に着目し、①犯罪予防支援：知的障がい者の犯罪を起こす要因を明らかにし、予防の在り方を提言する。②就労生活自立支援：犯罪を起こした知的障がい者を受け入れるために事業所や企業が克服すべき課題を明らかにし、就労を軸とした支援を通じた生活自立に向けた方策を提言する、ことを研究目的とした。</p> <p>調査方法として、調査1：ライフ・ライン・メソッドを用いたインタビュー方法により、犯罪を起こした障がい者を持つ親や雇用企業への聞き取りを行い、犯罪予防に必要な項目や障がい者雇用に対する考え方の変化、犯罪を起こした障がい者を雇用するために必要な要因等を明らかにする。調査2：犯罪を起こした障がい者を受け入れている福祉事業所の現場職員に対する質問紙調査を行い、実際に現場で支援する上での課題や要望を抽出する。</p> <p>以上の結果から、犯罪予防へつなげる可能性の示唆および矯正施設を出た後の福祉サービスから「就労」までをスムーズに移行するための支援を立案できると考えられる。</p>
選考委員からのコメント	<p>知的障がい者の犯罪予防支援に関する研究は緒に就いたばかりであり、学術的には萌芽的で発展可能性が高く、社会的にも意義深い。周辺研究領域の先行研究の成果を踏まえつつ、関連学会において積極的に研究発表を重ねていただきたい。</p>